

【様式1-1】

# 日高村 長寿命化修繕計画

2019年6月

日高村 建設課

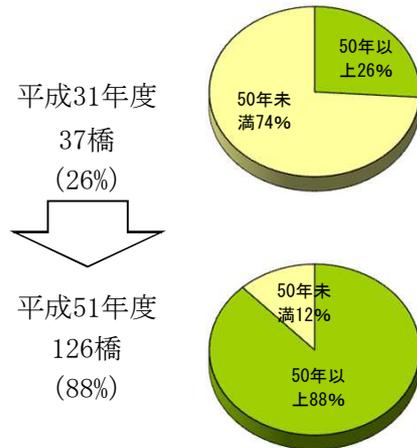
## 1. 長寿命化修繕計画の目的

### 1) 背景

本村が管理する橋梁は、平成31年度現在で144橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の26%を占めており、20年後の平成51年には、88%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。



### 2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト削減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで本村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

## 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	16	10	118	144
うち計画の対象橋梁数	16	10	118	144
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち平成31年度計画策定橋梁数	16	10	118	144

長寿命化修繕計画の対象：

- ・ 様式 1 - 2 の通りとする

### 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

#### 1) 健全度の把握の基本的な方針

橋の健全性は、5年毎に定期点検を実施して、部材の損傷種類や損傷程度から I（健全）～IV（緊急措置段階）の4段階で評価する。

#### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車による走行面の変状について点検を行う。

#### 3) 対策優先順位の考え方

橋梁の措置優先順位は、最新の点検結果で健全性の悪いものから実施する。健全性のランクが同一の場合は、諸元重要度の高いものから実施する。

### 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

本村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約88%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

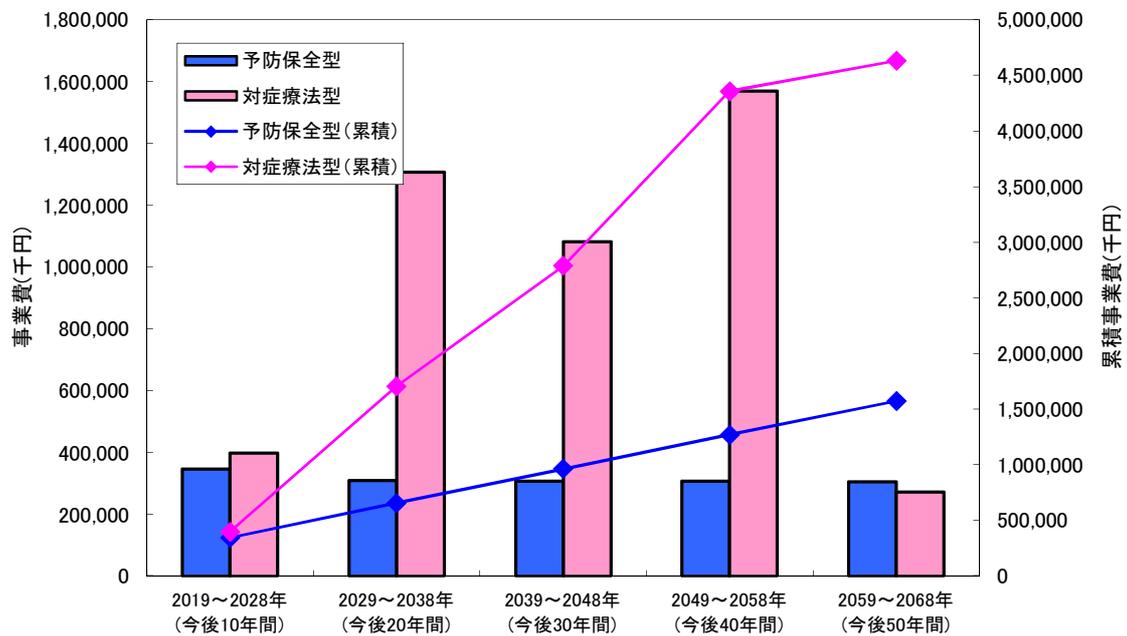
### 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1-2による

## 6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する144橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が46億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が16億円となり、コスト削減効果は30億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



## 7. 計画策定担当部署

### 1) 計画策定担当部署

日高村 建設課 tel : 0889-24-5114